

K7 横浜北西線とは

K7 横浜北西線は、2017年3月に開通したK7 横浜北線と直結する路線として、E1 東名高速道路とE83 第三京浜道路を結ぶ、延長7.1kmの自動車専用道路です。

K7 横浜北西線が完成すると、K7 横浜北線と一体となり、E1 東名高速道路から横浜港までが直結され、横浜市西北部と横浜都心・湾岸エリアとの連絡強化等が図られます。

<https://www.shutoko.jp/ss/hokusei-sen/>

ほくせいせん

検索



北西線位置図

スマホでVR体験

360度の映像によるトンネル火災時の避難体験

横浜北トンネル・北西トンネルで導入された「すべり台式」の避難体験がスマホでできます。



VR動画はここからアクセス

1 停車し、速やかに非常口へ避難



2 非常口扉が開き、すべり台が出現



3 すべり台で道路下の避難通路に移動



4 道路下の避難通路をサインに従って避難



道路緊急ダイヤル #9910 首都高への通報方法

緊急事態発生!! 事故・故障・落下物あらゆる緊急事態



携帯電話・PHS・固定電話から #9910

自動音声ガイダンスに従い道路の番号を選択

首都高は①を押す

音声ガイダンスの途中で操作は可能です

管制室につながります。

首都高速道路情報等のお問い合わせ

- 首都高お客様センター
TEL.03-6667-5855
受付24時間(年中無休) FAX.03-3249-1161 (耳が不自由な方専用)
- (公財)日本道路交通情報センター
[首都高速情報]
TEL.050-3369-6655

<<発行>>



ひと・まち・くらしをネットワーク

首都高速道路 株式会社

神奈川建設局調査・環境課

TEL 070-2153-1759 受付時間 平日9:00~17:00

ニューティ mew-ti

首都高専用の道路交通情報アプリ



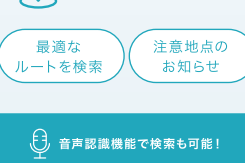
QRコードからアクセスしてアプリをダウンロード!
iPhone: iOS 9.0 以上
Android: OS5.0 以上
アプリのご利用規約はこちら



RT 道路交通情報がすぐにわかる!



GPS GPSと連動できる!



ジャンクションの混雑状況がわかる!



通行止め情報などをプッシュ通知でお知らせ!



いつもの出入り口が登録できる!

ほくせいせん

K7 横浜北西線 トンネルの防災システム

総合的な防災安全により万が一の事故や火災からみなさんを守ります。

非常用施設の運用



交通運用



構造物耐火



総合的な
防災安全

関係機関との連携



非常用施設の設置



広報



ひと・まち・くらしをネットワーク

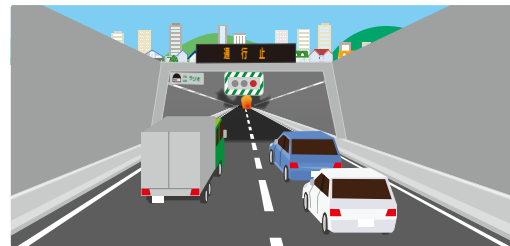
首都高速道路 株式会社

トンネルでもしも火災に遭遇したら



トンネルに入るときは ＜信号を確認して停車＞

赤信号の場合は、入口前で停車し、トンネル内には絶対に入らない。



トンネル入口警報板

警報板と坑口フラッシング(点滅灯)で火災発生を知らせます。



トンネル用信号機

火災が発生すると赤信号に変わりますので絶対にトンネル内に入らないでください。



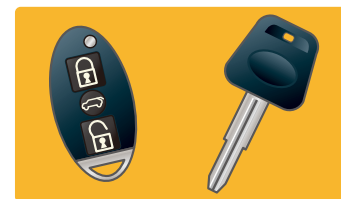
トンネル内では ＜車は路肩に寄せて停車＞

- 情報板等に従い、周囲の安全を確認して、速やかに停車。
- (非常口の前には停車しない)
- 停車するときは、**路肩に寄せて**、緊急車両が通行できるように中央部を開ける。



車を停車させた後は ＜車の外に避難＞

- エンジンを止め、**車内にとどまらず**速やかに非常口から避難。
 - 避難する際は、**後続車に注意**。
 - 避難していない方を見かけた場合には、**声をかけて一緒に避難**。
- ※車を置いて避難しても、火災鎮火後には車に戻り、運転できますので、安心して避難してください。



車両を移動させることが
あるため、キーは車内に
残してください。

火災現場では ＜非常電話や道路緊急ダイヤル #9910で＞通報

非常ボタン・非常電話

■押しボタン式通報装置

火災を発見したら、非常ボタンを押し、管制室に通報してください。



■非常電話

受話器をとり、管制室に火災発生を伝えてください。



携帯電話

管制室に**自分の居場所**を伝えてください。**キロポスト**か**非常電話の番号**が参考になります。

#9910 ▶ **首都高は①を押す**
音声ガイダンスに従い道路の番号を選択。首都高は**①**を押す。

キロポスト ▶ **北西 2.75**

非常電話の番号



初期消火

消火できる場合は、消火器または泡消火栓を使用してください。



泡消火栓

※火災現場での通報、初期消火については、安全を確保できる範囲でお願いします。

なぜ車外避難が必要なのか ～トンネル内における煙の危険性～

■火災で本当に怖いのは、炎でなく煙です！！

トンネル内で火災が発生した場合、煙は天井から溜まり、時間が経つにつれて煙の層が厚くなるとともに、天井に溜まっていた煙が床の方に下がり、**周囲が煙で充満します**。

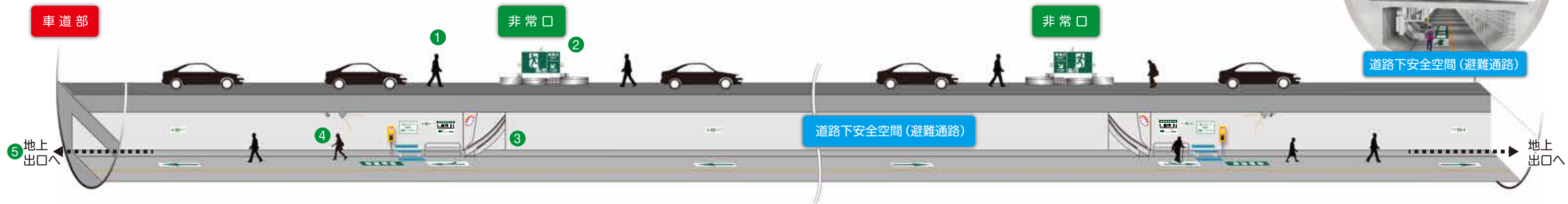
閉鎖されたトンネル空間では、煙で充満すると視界は悪くなり**恐怖心でパニック状態**に陥りやすくなりますし、呼吸困難を起こして**身体が自由がきかなくなる**危険性が高まります。

そのため、火災発生時は**速やかに車から降りて非常口へ避難**してください。



火災が発生した際の避難方法

⑦ 横浜北西線のトンネルは、延長約4.1kmで、その大部分は、**車両が走行する車道部**と**緊急時に避難する道路下安全空間（避難通路）**の2層構造になっています。
車道部から道路下安全空間へ避難するため、すべり台式の避難を採用しています。



① 最寄りの非常口へ避難（誘導表示板と回転灯を目印に）

誘導表示板

回転灯（非常口強調灯）

非常口表示灯



案内に従って**一番近い非常口**へ避難してください。
非常口までの距離は誘導表示板で確認できます。
非常口に設置される黄色い回転灯を目指し、避難してください。

② ボタンを押して非常口を開ける

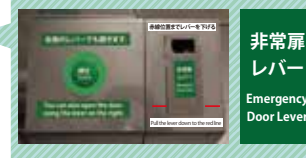


非常口に設置された緑のボタンを押します。

ボタンは非常口の両側にあります。



ボタンを押しても非常口が開かない場合はレバーを引くことで扉を開けられます。



ボタンを押すと、非常口の跳ね上げ扉が開放します。
避難者同士で助け合い、協力して避難してください。

協力しあって安全に避難してください。
Please cooperate with others to evacuate safely.

すべり台を利用するにあたり、**介助を必要とされる方がいる場合は、ご協力をお願いします。**

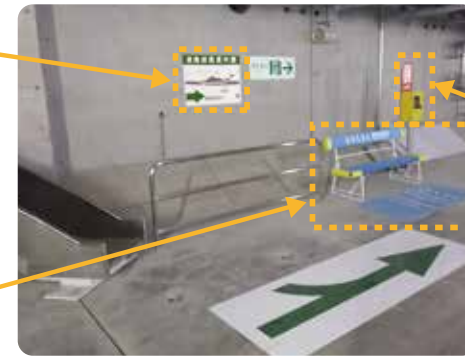
足が不自由などですべり台が滑りにくい場合は、靴を脱ぐ、タオルを巻くなどの対応をお願いします。

③ すべり台で道路下の避難通路に移動



跳ね上げ扉が完全に開いているのを確認し、**すべり台を使って*道路下の安全空間へ滑り降りてください。**
※一部すべり台を使わない非常口もあります
避難通路は安全空間ですので、慌てずに避難をお願いします。

④ 道路下の避難通路を案内に従って避難



避難通路の**案内に従って**避難してください。
救助が必要な方は、ベンチを設置していますので、緊急電話をかけて、救助を呼び、ベンチでお待ちください。

⑤ 地上に出たら待機



地上出口の扉付近にはチラシが置いてあります。
チラシに**現在地や災害情報案内、管制室の連絡先**が記載されています。

トンネル内の防災設備と運用

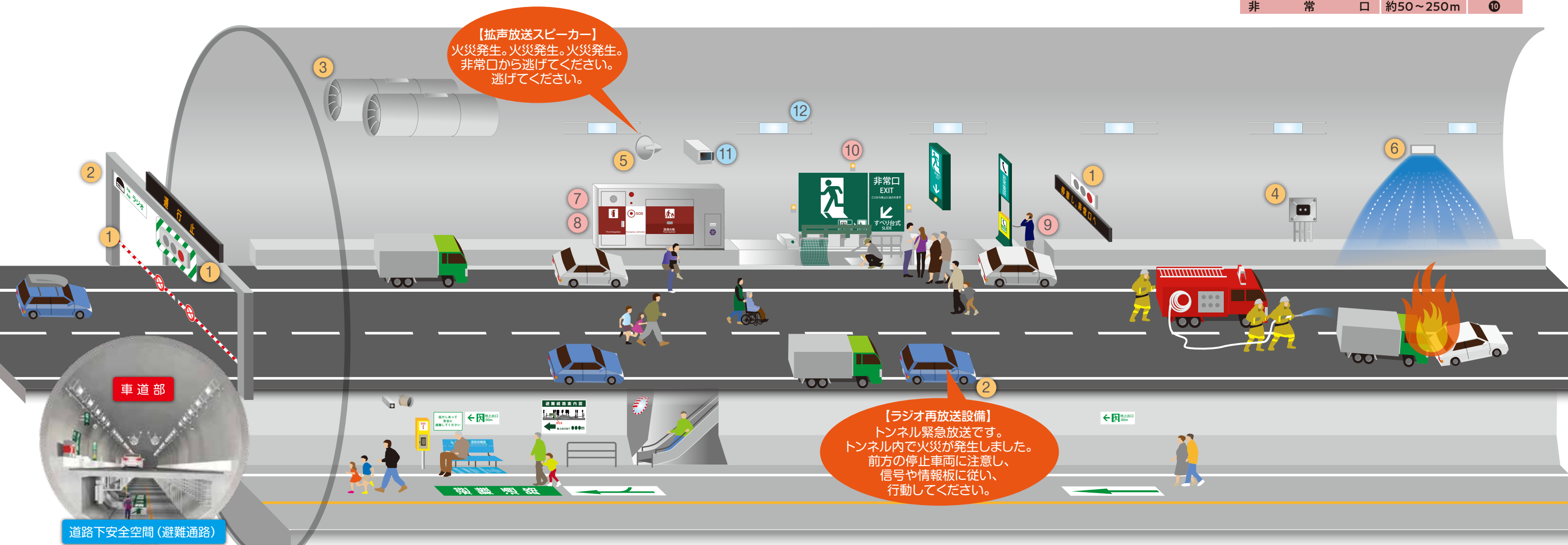
最新の防災安全設備で、管制室と現場が連携し
365日24時間体制でトンネル内を見守っています。

万が一、トンネル内で火災が発生した場合は、警報設備や防災設備など各設備を用いて、被害を最小限に抑えながら、安全に避難を支援、誘導します。
また、トンネル本体は耐火構造となっており、火災発生時の損傷など甚大な災害に繋がるリスクを低減します。

一定間隔で設置されている防災安全設備の配置

トンネル内のどこで災害が発生しても迅速に対応できるよう、設備は一定間隔で設置されています。

設 備	間 隔	下 図
自動火災検知器	約25m	④
消火器・泡消火栓	約50m	⑦
押しボタン式通報装置	約50m	⑧
テレビカメラ	約100m	⑪
非常電話	約100m	⑨
拡声放送スピーカー	約150m	⑤
非常口	約50～250m	⑩



火災発生時の防災設備

①トンネル用信号機・トンネル警報板・遮断機



非常時にトンネル内の火災事故等の情報をお知らせします。

②ラジオ再放送設備



トンネル火災発生時は、緊急放送を、各ラジオ放送に割り込み発信します。



④自動火災検知器

火災時に発生する赤外線を検知します。



⑤拡声放送スピーカー

ドライバーに情報を伝達します。

③ジェットファン



煙が避難の妨げにならないように空気の流れを調整し、避難の時間を確保します。

⑥水噴霧設備



約50mの範囲に霧状の水を散布し、火災の延焼や拡大を防ぎます。

火災発生時、ドライバーの方に使用していただく設備

⑦消火器・泡消火栓



消火器が格納されています。泡消火栓はレバーを引くことで放水します。



⑧押しボタン式通報装置



非常時にボタンを押すことで、管制室に連絡がいきます。



⑨非常電話

管制室に連絡できます。

⑩非常口

道路下安全空間につながっていて、地上出口まで避難できます。

安全設備と管理体制

⑪テレビカメラ



死角なく設置し、常にトンネル内を見守っています。

⑫交通管制室・施設管制室



火災などの状況を瞬時に判断し、警察・消防等への要請、パトロールカーの出動、関係機関への連絡などを行います。

交通事故等を即時に見つけます。



画像処理による交通異常事象検出システムの導入により、【停止車両】【減速車両】などを自動的に検出します。

⑬トンネル内照明設備



安全で快適に走れるように、見やすく明るい照明を設置しています。

パトロールカー



定期的に巡回し、日々交通安全の確保に努めています。

エアジャッキを使い、早期に交通開放します。



天井の高さの低いトンネル内で、万が一、車両が横転したとき車両を立て直す装置(エアジャッキ)を配備しています。